

第4次与那原町総合計画

～太陽とみどり、伝統とやさしさを
未来へつなぐ海辺のまち～



平成23年度
与那原町

①前回住民会議検討範囲（４月２６日実施）

協働と連携、未来につながるまちづくり

住民協働のまちづくり

情報の共有・共鳴で築くまち

自律・自立するまち

構想実現のために

①前回住民会議検討範囲（4月26日実施）

・ 協働と連携、未来につながるまちづくり

（1）住民協働のまちづくり

- 本町の人口は約 16,300 人（平成 22 年現在）、世帯数は約 6,100 世帯（平成 22 年現在）となっています。
- 人口、世帯数ともに年々増加していますが、一世帯当たりの人数は減少しています。
- 生活スタイルの多様化により、地域内での交流が少なくなっています。
- 人口構成の変化とともに、地域活動に影響が出ています。
- 地域活動の拠点となる公民館や集会所などは、積極的な活用や環境整備が望まれます。

②今回住民会議検討範囲（5月～6月目途）

施策の方向

【基本方針】

与那原大綱曳にみられる町民の融和と団結力は、一人ひとりが地域に対して誇りを持っていることの表れであり、今後も地域コミュニティの充実したまちづくりを目指します。

【施策の概要】

- 地域住民へ自治会の存在意義を理解してもらい、自治会への加入を促進します。
- 地域活動の拠点施設となる公民館や集会所などは、いつでも誰でも気軽に利用できる環境整備に努めます。
- 地域の自治活動に、住民が積極的に参加できるように取り組みます。

【施策の体系】



住民協働のまちづくり

自治会への加入の促進

公民館を地域の拠点施設としての環境整備

地域自治活動の活性化